

2026 年 9 月 18 日

リコー、インクジェット事業の成長加速に向け、厚木事業所に新棟を建設 ～超精密モノづくりの強みを自動化・物流革新・AI で進化、人と AI が共創する次世代工場へ～

株式会社リコー（社長執行役員：大山 晃）は、インクジェット事業のさらなる成長と、高品質なインクジェットヘッドの安定供給体制の強化に向けて、厚木事業所（神奈川県厚木市）敷地内に新棟を建設します。新棟は 2026 年 11 月の着工、2028 年度上期の竣工を予定しています。

本新棟は、インクジェット事業を支える中核生産拠点として位置づけます。インクジェットヘッドの生産・供給能力を強化するとともに、これまで培ってきた超精密加工技術や品質づくりのノウハウをデータとして蓄積・活用し、自動化技術や AI、デジタルマニュファクチャリング（※1）と融合することで、高品質・高生産性・高い供給安定性を兼ね備えた次世代のモノづくり基盤を構築します。

近年、サインディスプレイ、ラベル・パッケージ、テキスタイルなどの産業印刷（※2）分野では、多品種・小ロット化、短納期化、環境負荷低減へのニーズの高まりを背景に、アナログ印刷からデジタル印刷への移行が進んでいます。また、電子回路・電池・車体塗装など高精度な液体吐出技術を活用する機能印刷（※3）への展開も広がっています。こうした用途拡大を見据え、インクジェット技術の中核部品であるインクジェットヘッドについて、中長期的な需要に柔軟に対応できる生産・供給基盤の強化を進めます。

リコーは長年にわたり、超精密加工技術や材料技術を強みに、高性能なインクジェットヘッドの開発・生産を行ってきました。インクジェットヘッドの製造にはミクロン単位の高い精度が求められ、品質の維持・向上には熟練技能者の経験やノウハウも重要な役割を果たしています。一方、需要の変動や拡大局面では供給能力が制約となる場面もあったことから、お客様のニーズにより機動的に 대응するため、生産能力と供給安定性の双方を高めることが課題となっていました。

今回の新棟建設では、これまで厚木事業所内の複数の建物に分かれていたモノづくり機能を一棟に集約します。リコーが長年培ってきた超精密なモノづくり技術と品質づくりの力を強みに、さまざまな種類の製品を柔軟につくることができる自動化ラインやロボットを導入し、高い生産性と柔軟性を備えたモノづくりを実現します。

また、熟練技能者が培ってきた経験やノウハウをデータとして蓄積し、AI を活用して生産条件や品質の判断に生かすことで、熟練の技を次世代へ継承するとともに、安定した品質を再現できるモノづくりへと進化させます。

さらに、生産設備、品質、物流などの情報をデジタルでつなぎ、自動搬送なども活用することで、工場内のモノと情報の流れを最適化し、需要の変化にも柔軟に対応しながら、高品質な製品を迅速かつ安定して供給できる生産体制を構築します。

こうした自動化・物流革新・AI の活用によって、超精密モノづくりの強みをさらに高めます。そして、人が培ってきた知恵や技能と AI・デジタル技術それぞれの強みを生かすことで、「人と AI が共創する次世代工場」として、モノづくりを進化させ続けていきます。

株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL：050-3814-2806（直通） E-mail：koho@ricoh.co.jp
お客様の問い合わせ先 RICOH360 <https://www.ricoh360.com/contact/>

新棟の稼働により、インクジェットヘッドの生産能力を将来的に現在の2倍以上まで拡大できる体制を整えます。需要動向に応じて生産能力を機動的に活用するとともに、高品質な製品の安定供給とリードタイム短縮を通じて、お客様の事業成長を支える供給基盤を強化します。

リコーは、本新棟を核としてインクジェットヘッドの安定供給力とモノづくり競争力を高め、インクジェット事業のさらなる成長を加速していきます。また、AI、デジタル技術、自動化を活用した生産技術を確立し、そこで得たノウハウをグループ全体へ展開することで、超精密モノづくりの競争力を次世代へ継承・進化させていきます。

<リコー厚木事業所 新棟概要>

所在地	: 神奈川県厚木市下荻野 1005 (既存敷地内に建設)
建物	: 4 階建て
延床面積	: 約 39,000 m ²
着工予定時期	: 2026 年 11 月
竣工予定時期	: 2028 年度上期



(※1) デジタルマニュファクチャリング

デジタル技術や IoT・AI を駆使して製造現場やオフィスのデータを取得・蓄積・分析し、生産性と働き方の変革や新たな付加価値を創出する取り組み。

(※2) 産業印刷

建材・家具・壁紙・サインディスプレイ・服飾品生地など、多種多様な印刷を可能とする産業用インクジェットヘッド・インクジェット用インク・産業用プリンター

(※3) 機能印刷

インクジェット技術で機能性材料を高精度に形成する新規事業領域

■ 関連情報

産業用インクジェットヘッド

<https://www.ricoh.co.jp/products/maker/ricoh/industrial-inkjet-printheads>

リコーのインクジェット技術の広がり

<https://jp.ricoh.com/technology/inkjet>

* 社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、世界約200の国・地域で、AIをはじめとする先進テクノロジーと、長年培ってきたプリンティング領域の強みを基盤に、ワークプレイスにおける業務変革を支援するサービス・ソリューションを提供しています。また、商用・産業印刷事業や、インクジェット技術を応用した新たなソリューションの展開を通じて、お客様の価値創出を支えています(2026年3月期グループ連結売上高2兆6,083億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来90年にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>